

「まちの話題」に
投稿ください。



まちの話題は、市民の皆さんからいただいた情報により、身近な話題を掲載しています。皆さんからのたくさんの投稿お待ちしております。



投稿方法

- ①タイトル(11文字程度) ②本文(140文字程度)
 - ③投稿者名 ④連絡先 ⑤写真1枚~3枚
- を添えて、秘書広報課までメールで投稿ください。
メールアドレス/koho@city.satsumasendai.lg.jp

※内容やスペースの都合により掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

おいしいうどん、お家でも作ろうね

1月26日(日)、少年自然の家で、ファミリー自然体験隊(冬)を開催しました。

8家族が参加し、手打ちうどん体験や野菜収穫などを行いました。自分たちで作った生地を踏んで、コシのあるもちっとした食感のうどんを豚汁と一緒に味わい、心も体も温まりました。



沖縄の伝統芸能に触れる

1月26日(日)、SSプラザせんだいで、「組踊」特別鑑賞会を行いました。

組踊はユネスコ無形文化遺産に登録、国の重要無形文化財に指定されている沖縄の伝統芸能です。県内外から多くの方が鑑賞に訪れ、沖縄の伝統的な方言でのせりふや太鼓、三線などを用いた歌舞劇を楽しみました。



しそジュースの製造・販売などが評価されました

2月4日(火)、カクイックス交流センター(鹿児島市)で、令和6年度鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体の表彰式が行われ、大馬越地区コミュニティ協議会が地域コミュニティ組織部門の優秀賞を受賞されました。

しそジュースの製造・販売などの地域一体となり取り組むさまざまな活動が高く評価されました。



市民の安全への思いを語る

2月6日(木)、市消防局で、第44回消防職員意見発表会を開催しました。

10人の消防士が日頃の業務や災害対応の中で感じたことや取り組むべき課題などを、消防・防災をテーマに発表しました。

「市民の防災意識向上を目指して」と題して発表した東部消防署の白石消防士が最優秀賞を受賞し、4月に垂水市で開催される「第48回鹿児島県消防職員意見発表会」に市消防局代表として出場します。



女性消防団員の活性化のために

2月8日(土)、国際交流センターで、第15回県女性消防団員研修会が開催されました。

この研修会は、女性消防団員のより一層の活動能力の向上や活性化を図ることを目的に開催されています。県内から約250人の団員が参加し、本市消防団本部女性分団がハンドベルを演奏しながら、原子力防災について活動事例を発表しました。



▲濱田施設長(中列左から3番目)と従業員の皆さん

深ボリ! 企業のチカラ 最終回

今回は、社会福祉法人溪州会 はまかせ園を「深ボリ!」施設長の濱田恒さんにお話を伺いました。

事業の概要

当法人は平成10年に設立し、翌11年に特別養護老人ホーム はまかせ園を開所しました。

現在は、特別養護老人ホームに加え、短期入所生活介護、訪問介護、通所介護、居宅介護支援といった介護保険事業を行っています。

はまかせ園の取り組み

当園では、利用者なるべく抱え上げることなく行

また、開所以来「看取り介護」にも力を入れています。これは、住み慣れた環境で最期を迎えたいと願う方に対して、そのときまで日常生活のケアを提供する取り組みです。医療機関と連携し、安心して最期を迎えることができる環境づくりを目指しています。



▲ノーリフティングケアの様子

開所以来「地域のための施設でありたい」という思いを持ち続けています。これまでに、介護保険事業に加え、小中学校の福祉体験や職業体験の受け入れ、地域高齢者への買い物支援など、社会福祉法人として地域に貢献する活動を行ってきました。今後もこの思いを大切に、培ってきた豊富な介護技術と福祉の知識などの情報を生かして、地域に必要な支援を提供していきます。



▲レクリエーションの様子

社会福祉法人溪州会 はまかせ園 - Information -

代表者: 理事長 濱田聡
所在地: 西方町 3111 番地
従業員数: 85人
連絡先: ☎(28) 1010

ホームページ ▶ Instagram ▶

社員からのメッセージ

入社1年目 榎木紅音さん

介護に興味を持ち、転職して勤めるようになりました。施設では、利用者の食事や排泄のお手伝いなどを行っていただきます。利用者の方々とコミュニケーションを取り、信頼関係を築けていけると、信にやりがいを感じます。今後は、実務経験を積みながら資格取得にも挑戦し、利用者様が安心して楽しく生活できるように介護技術を身に付けていきたいです。